

IXIL 階段ユニット

幅木納まり・ひな段タイプ・ストリップタイプ 取付け説明書



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

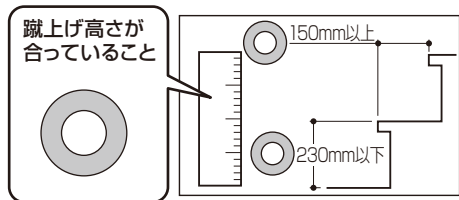
■守っていただきたいこと

▲注意 …施工を誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

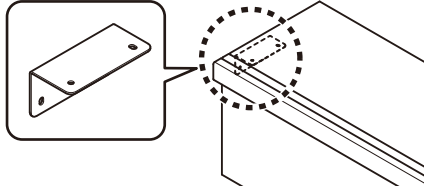
▲注意



- 必ず室内に取付けてください。水に濡れると製品強度が落ち、破損してケガをするおそれがあります。
- 下記施工条件を守ってください。階段を踏み外しケガをするおそれがあります。
 - ・建築基準法を遵守してください。
(踏面：150mm以上、蹴上げ：230mm以下、有効開口幅：750mm以上)
 - ・蹴上げ高さを一定にしてください。



※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	建築基準法は守られていますか。	<input type="checkbox"/>
2	L型金具は正しく取付けできていますか。 	<input type="checkbox"/>
3	階段全体のガタツキや踏鳴り(踏板のキシミ音)はありませんか。	<input type="checkbox"/>

保管・取付け前のお願い

1 検品について

- 取付け後の損傷は免責となるので、開梱時に必ず検品をしてください。製品に不具合があった場合は、取付け前にお買い求め店までご連絡ください。

2 取扱いについて

- キズがつくので運搬・加工時は丁寧にお取扱いください。
- ソリ、ねじれになるので以下の行為や場所に置くことは避けてください。(開梱状態で水がかかる、直射日光の当る、湿気が多い)
- 外観不具合になるので、濡れた場合は、すぐにふき取り、乾燥させてください。

3 色柄について

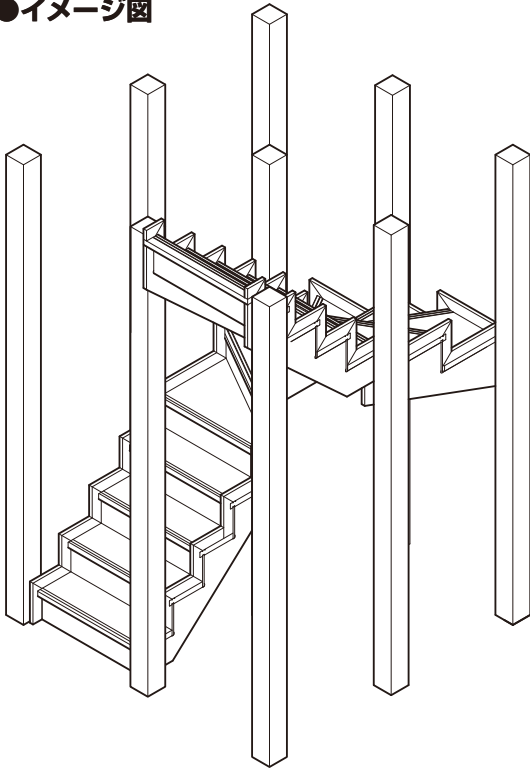
- 色の調和をとるために、色柄の仮合わせをして取付けしてください。

4 躯体について

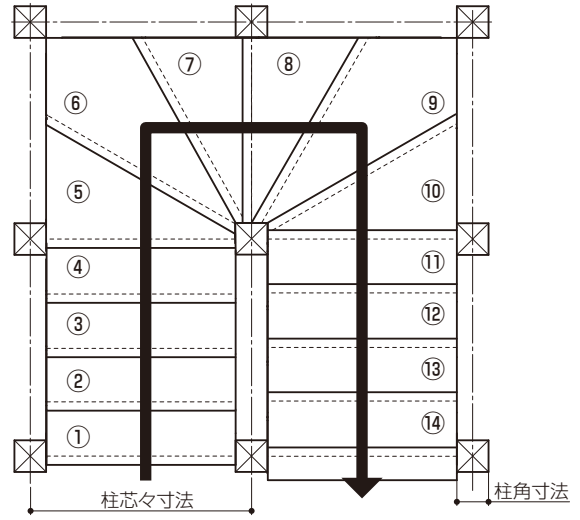
- ガタツキや異音となるので、階段の荷重に耐えられる躯体構造にしてください。
- 取付けできなくなるので、躯体の垂直、階高・開口寸法を確認してください。

■幅木納まり／完成イメージ図(折り返し階段6段廻り 幅木仕様 上がり切り15段 けこみ芯納まりの場合)

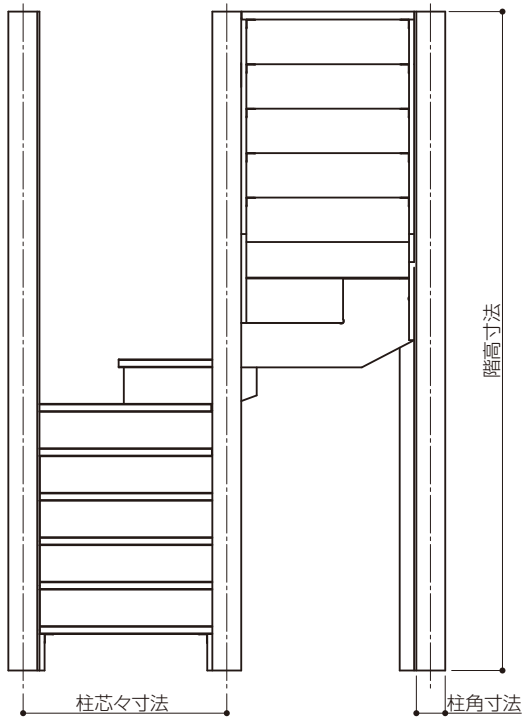
●イメージ図



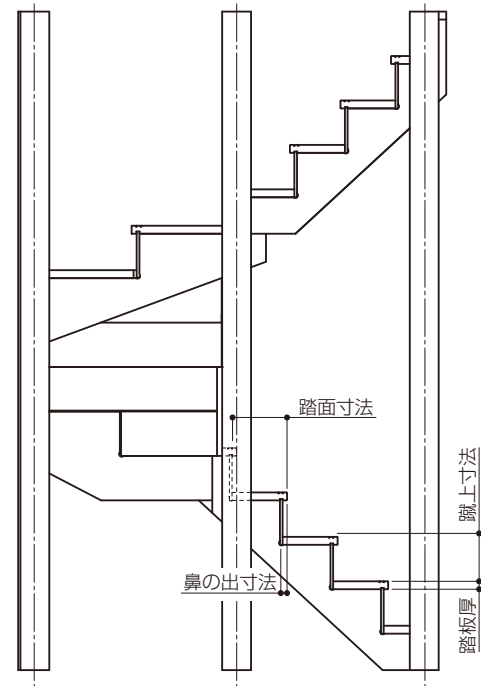
●平面図



●正面図

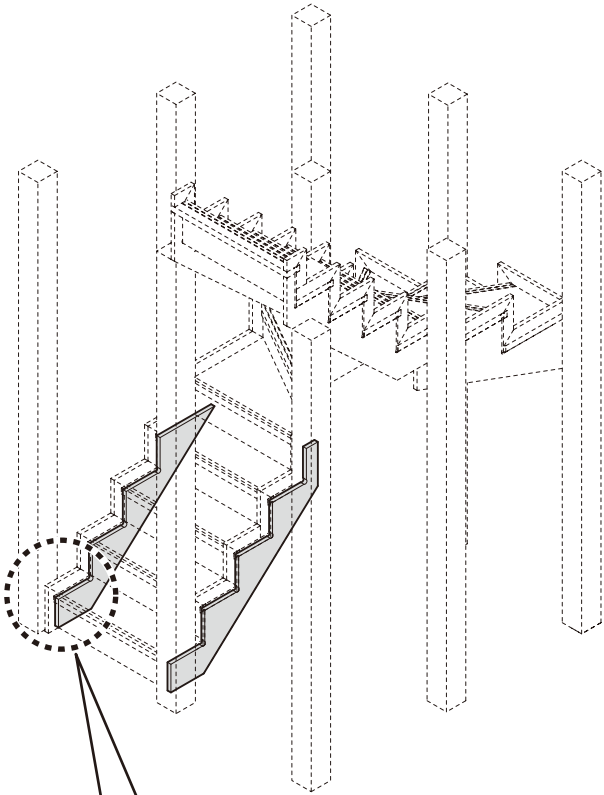


●側面図

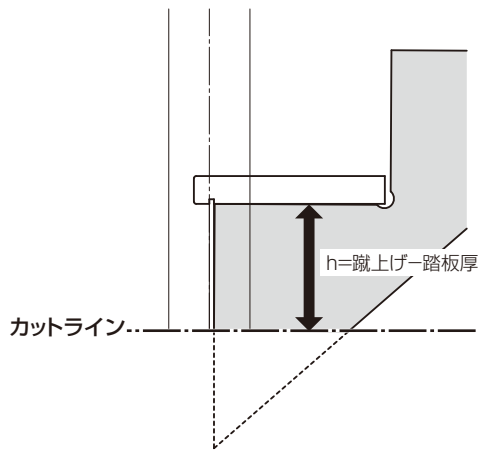


1-1 受け材の加工(直線用受け材)

- ①直線用の受け材の下端部に切断の墨出しをしてください。
- ②墨出し線に沿ってカットしてください。
- ③内廻りの上端部は、納まりに応じてカットしてください。

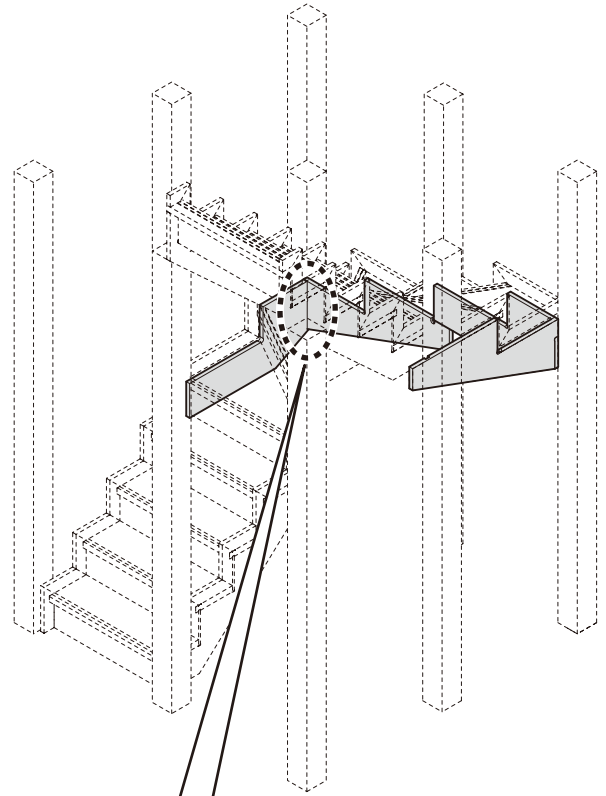


下端部のカットライン

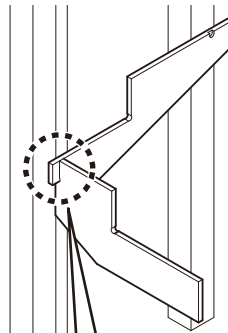


1-2 受け材の加工(廻り用受け材)

- ①ボード先張りの場合、コーナー部に切断の墨出しをしてください。
- ②墨出し線に沿ってカットしてください。



壁面に合わせてカット



●ボード先張りの場合

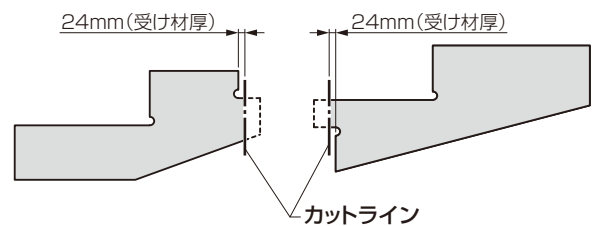
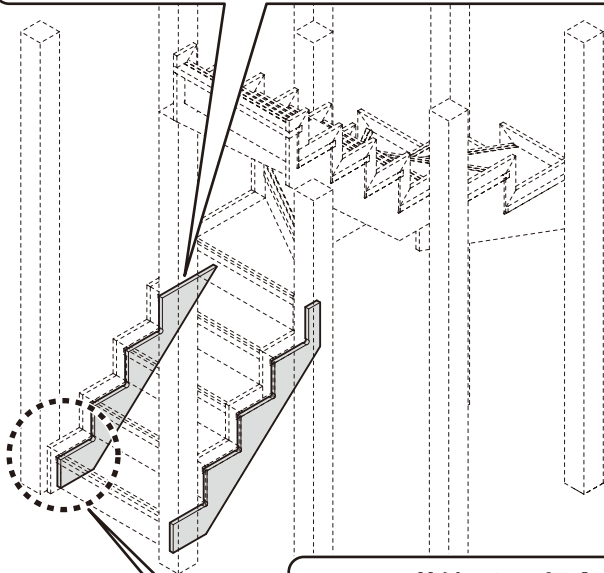
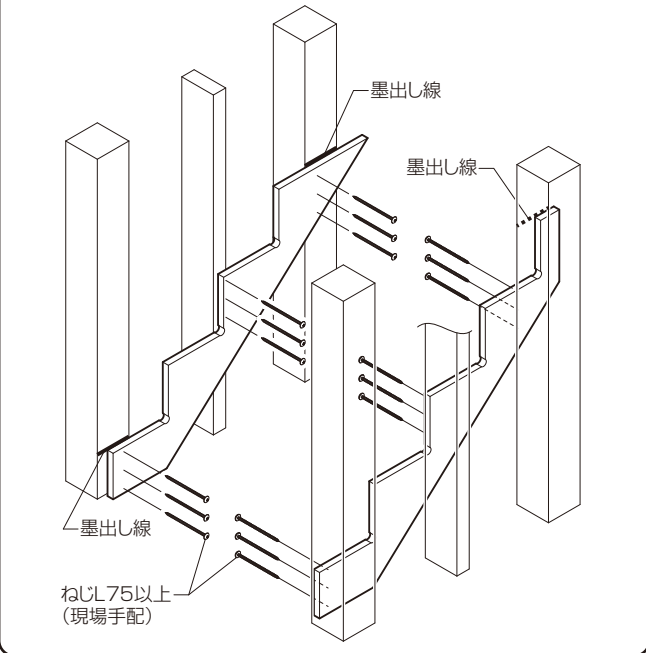


図-1 受け材の取付け(直線用受け材)

- ① 躯体の柱(ボード先張りの場合は壁)に蹴上・踏板厚の高さの墨出し線を引いてください。
- ② 水平方向の位置出しは、けこみ厚分をずらした位置に墨出ししてください。
- ③ 墨出し線に合わせて、柱と間柱に固定してください。固定はL=75以上のねじ(現場手配)で各柱、間柱に3本以上行います。

●直線用受け材の固定箇所



●けこみ芯納まりの場合

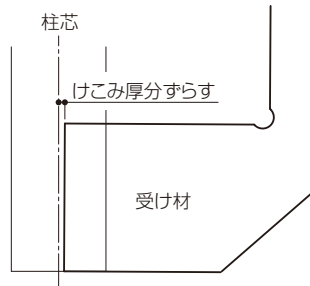
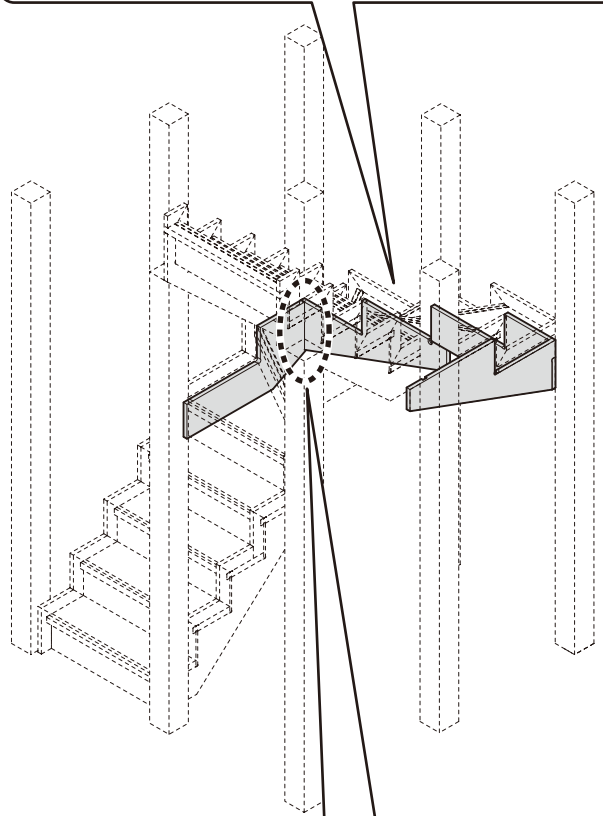
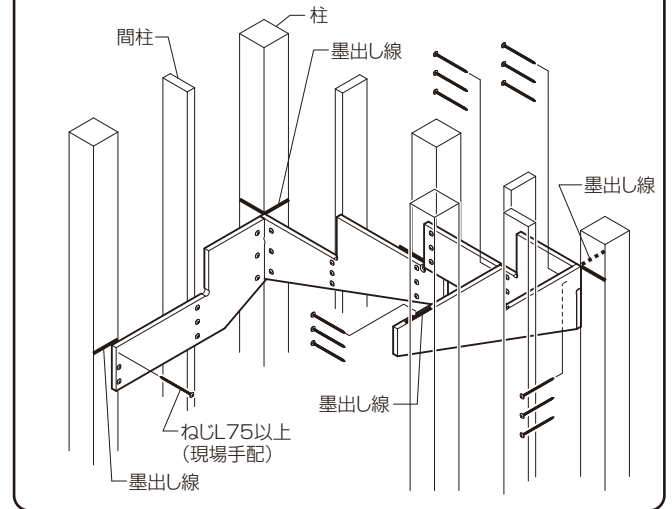


図-2 受け材の取付け(廻り用受け材)

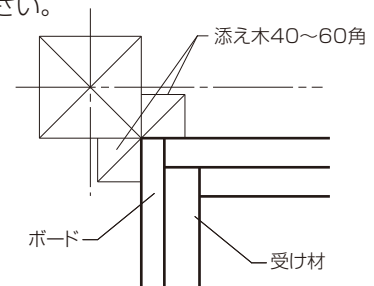
- ① 墨出し線に合わせて、柱と間柱に固定してください。固定はL=75以上のねじ(現場手配)で各柱、間柱に3本以上行います。

●廻り用受け材の固定箇所



●コーナー部の固定

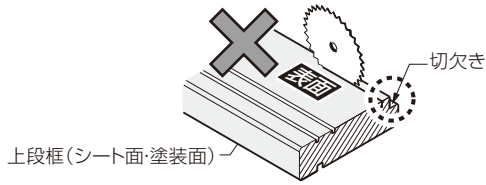
ボード先張りの場合、コーナー部に添え木(40~60角)をいれてください。



3-1 踏板の加工(直線用踏板)

踏板の加工上のお願ひ

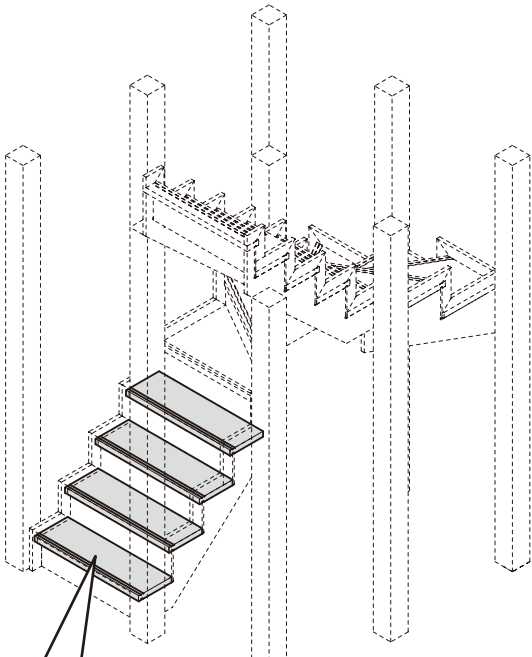
- シートはがれとなるので、上段框の表面はカットしないでください。



- ①階段の寸法に合わせて幅と奥行きを切断してください。
- ※追加加工の場合は、指定寸法で納品されます。

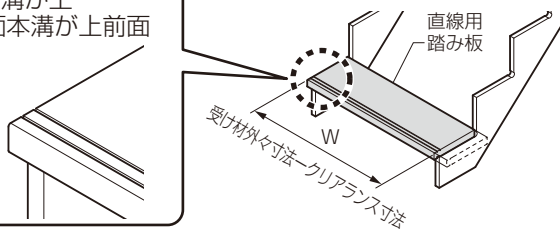
【ラシッサアルファ階段の場合】

- ①カバーを外して、ねじ位置が切断位置と干渉する場合はずらしてください。
- ②カバー材を踏板より5mm(片側2.5mm)短くして嵌め込んでください。

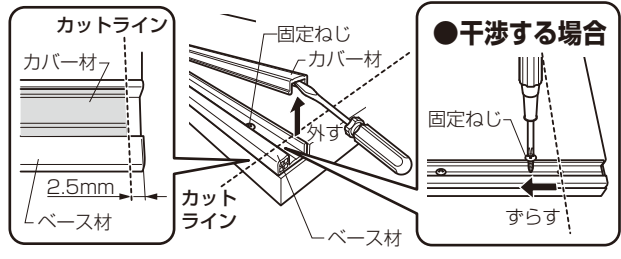


●直線用踏板のカット

2本溝が上
前面本溝が上前面

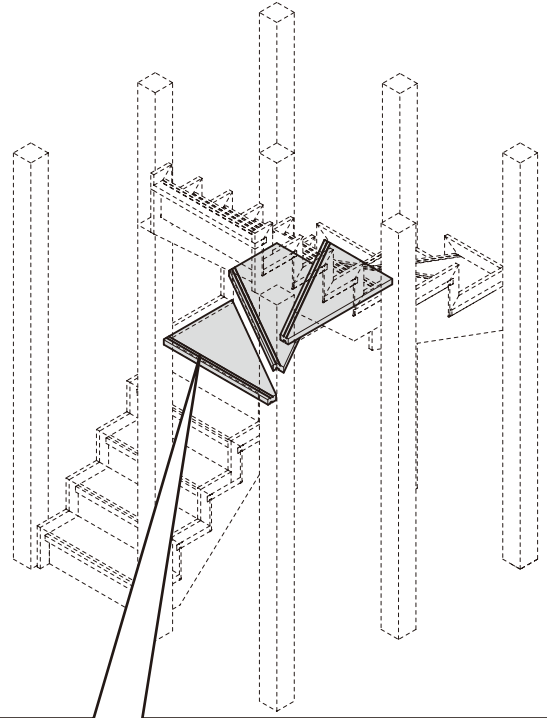


【ラシッサアルファ階段の場合】

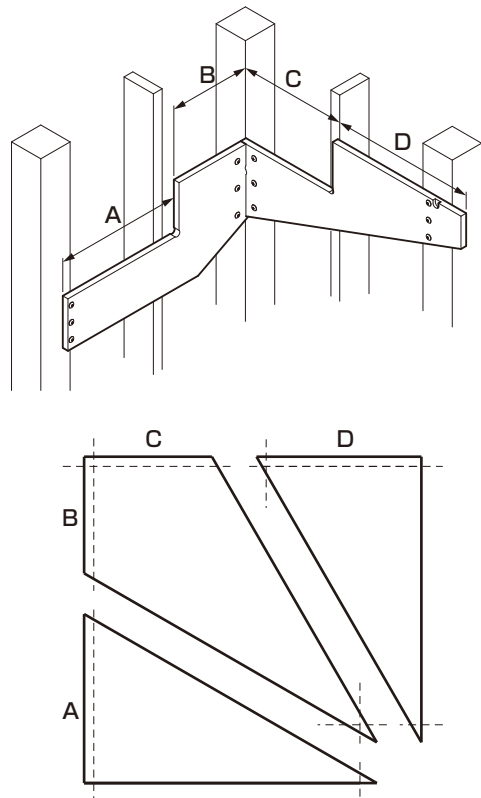


3-2 踏板の加工(廻り用踏板)

- ①廻り踏板外周を、廻り用受け材の寸法を参照して切断してください。
- ②踏板の鋭角部は、柱の欠き込み寸法に合わせて切断してください。(柱の欠き込み寸法は3-3参照)

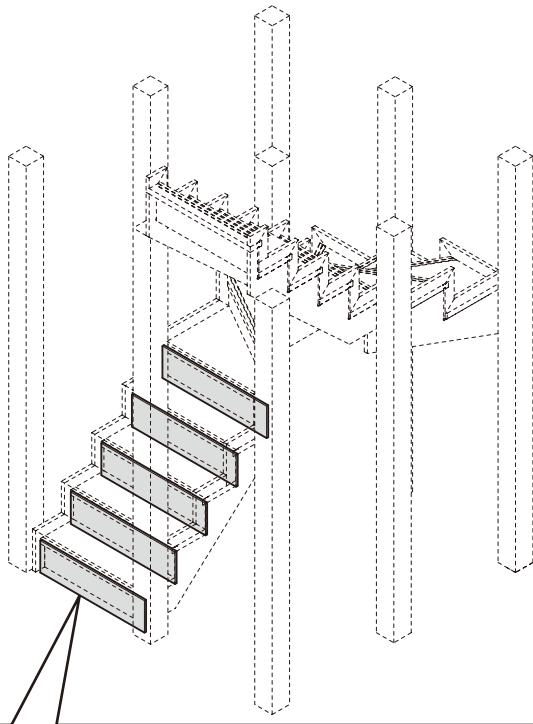


●廻り用踏板のカット

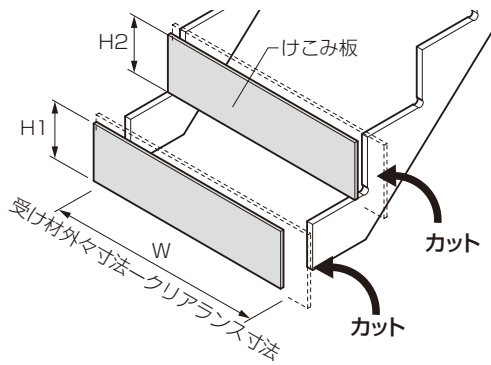


4-1 けこみ板の加工(直線用けこみ板)

①階段の寸法に合わせて幅と高さを切断してください。
 ※追加加工の場合は、指定寸法で納品されます。



●直線用けこみ板のカット



2段目以上:

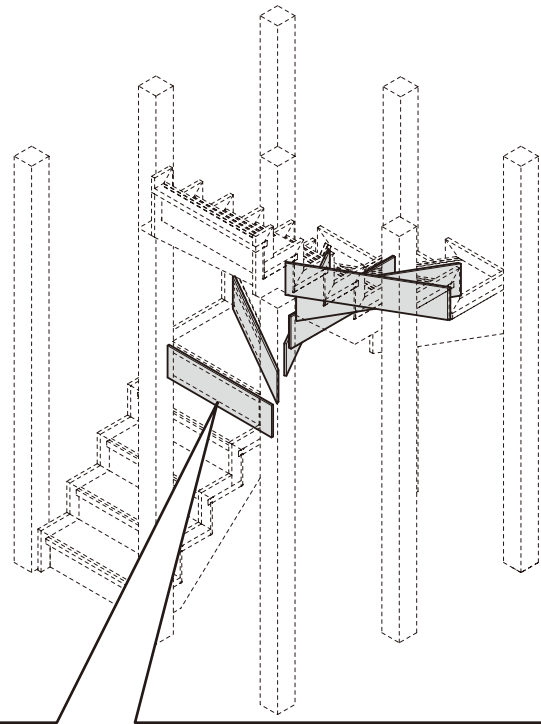
高さ(H2) = 蹴上げ寸法 + 6mm

最下段:

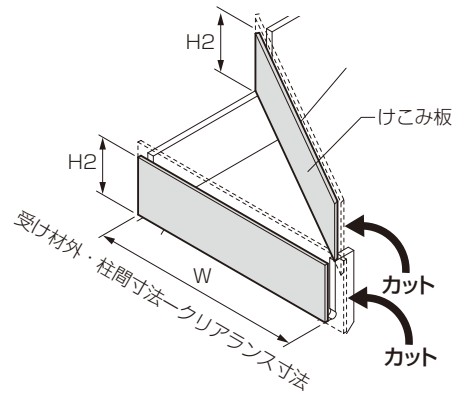
高さ(H1) = 蹴上げ寸法 - 踏み板厚 + 6mm
 ※ +6mm はけこみ溝への差し込み寸法

4-2 けこみ板の加工(廻り用けこみ板)

①階段の寸法に合わせて幅と高さを切断してください。
 ※追加加工の場合は、高さは指定寸法で納品されます。



●廻り用けこみ板のカット



高さ(H2) = 蹴上げ寸法 + 6mm

※ +6mm はけこみ溝への差し込み寸法

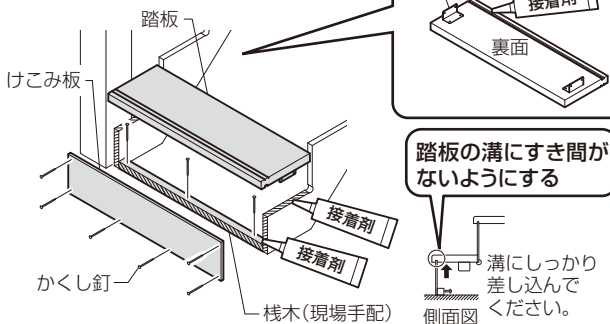
図-1 踏板とけこみ板の取付け(直線部 1段目)

取付け上のお願ひ

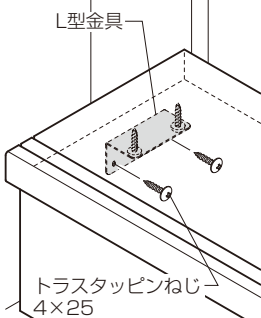
- 接着剤は「コニシ ネダボンドアプリパック」(現場手配)をご使用ください。
- ねじ固定箇所は下穴を空けてください。

- ①床面に30mm角の栈木(現場手配)を取付けてください。
- ②踏板を仮置きして、L型金具の取付け位置の墨出しをしてください。
- ③L型金具を同梱のトラスタッピング4×25のねじで踏板に固定してください。
割れ防止のため、ねじ固定前に下穴を空けてください。
- ④接着剤を受け材と栈木に塗布してください。
- ⑤けこみ溝部に接着剤を塗布して、けこみ板を溝に入れてください。
けこみ板はかくし釘等で固定してください。
- ⑥L型金具を受け材に固定してください。
- ⑦階段裏側からけこみ板をねじで固定してください。
けこみ板裏面に補強材を固定してください。
補強材には接着剤を塗布してください。

●けこみ板の固定



L型金具



階段裏側

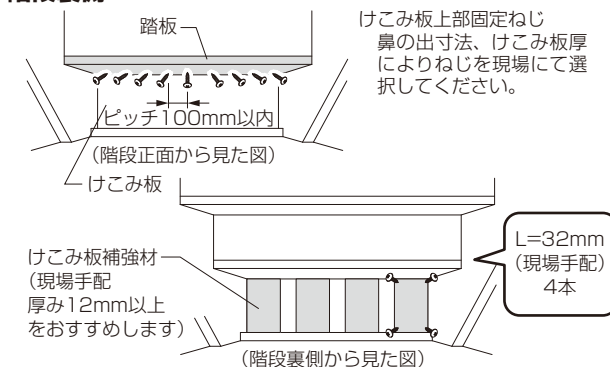
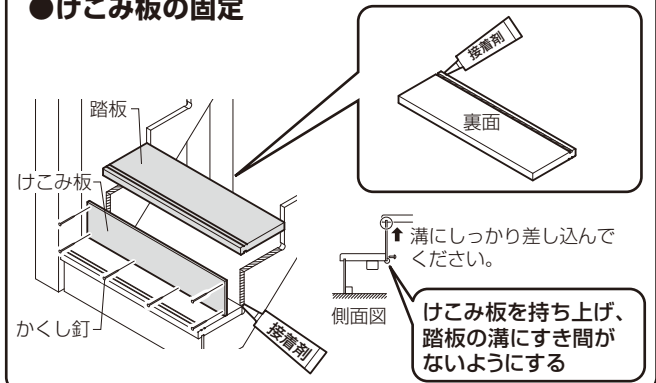


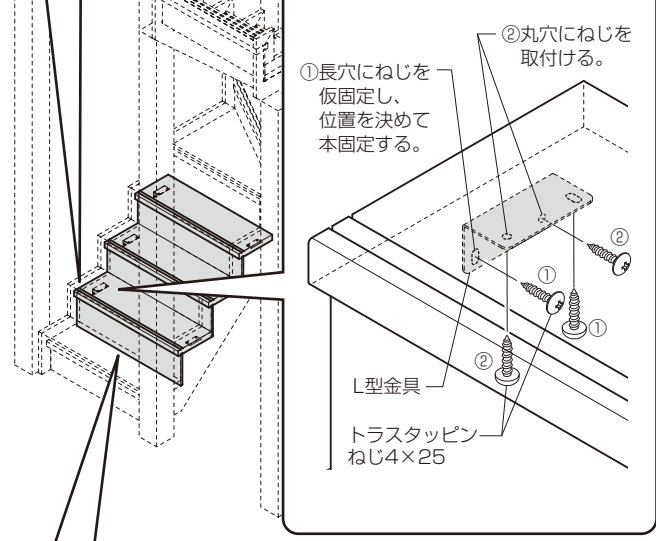
図-2 踏板とけこみ板の取付け(直線部 1段目以外)

- ①受け材の木口面に接着剤を塗布してください。
けこみ板を踏板的後ろに差し込んでください。
- ②踏板的けこみ溝に接着剤を塗布してください。
- ③踏板的置いて位置合わせてください。
けこみ板はかくし釘等で固定してください。
- ④L型金具を固定してください。
割れ防止のため、ねじ固定前に下穴を空けてください。
- ⑤階段裏側からけこみ板と踏板的をねじで固定してください。
- ⑥けこみ板裏面に補強材を固定してください。
補強材には接着剤を塗布してください。

●けこみ板の固定



L型金具



階段裏側

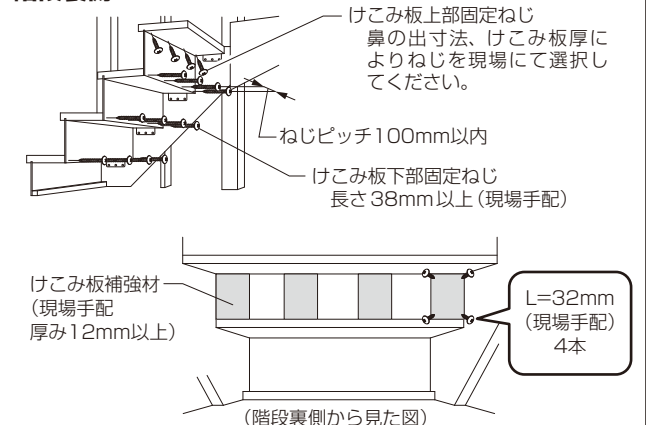
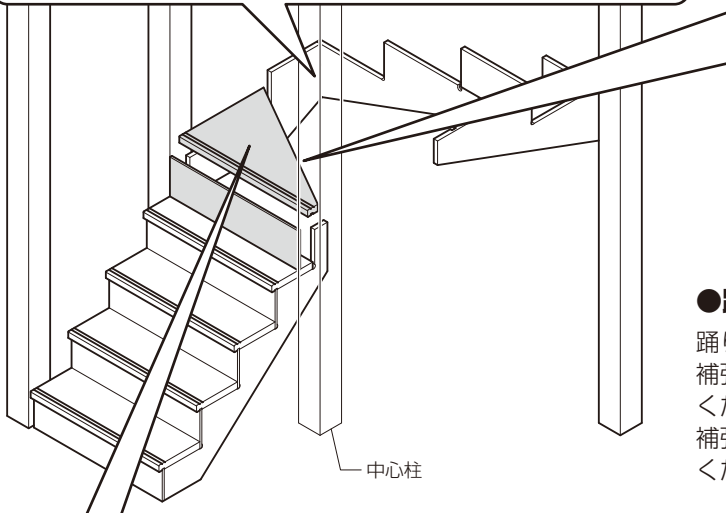
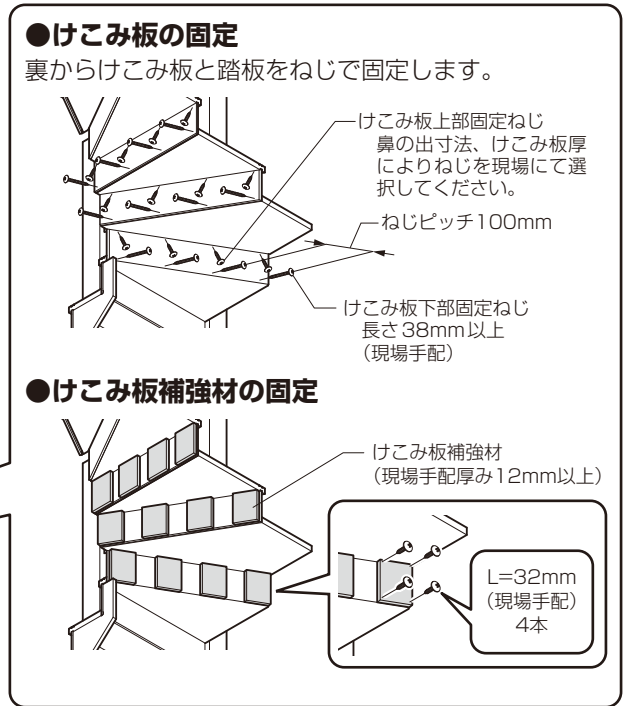
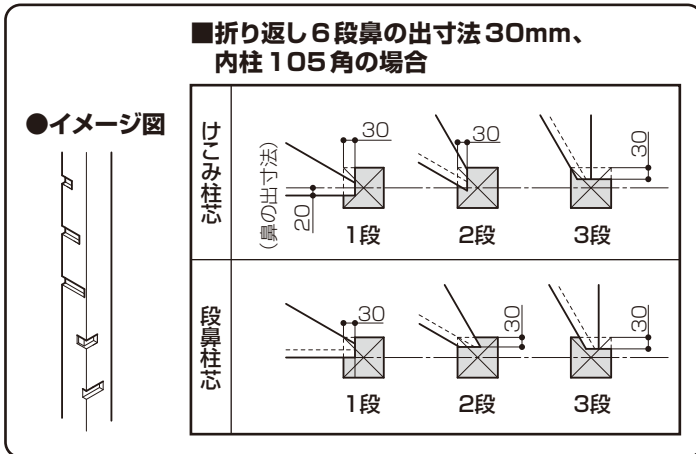


図-3 廻り用踏板とけこみ板の取付け

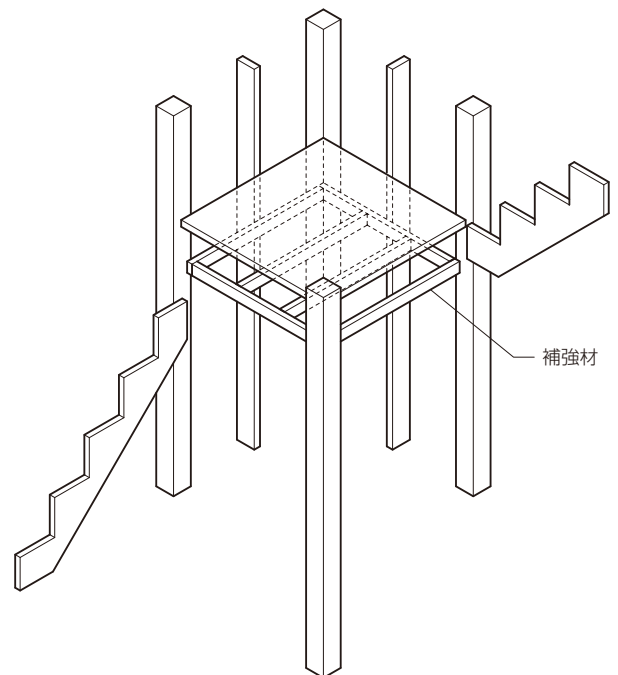
- ①廻り用踏板の中心になる柱を柱芯納まりにあわせて加工してください。
- ②受け材の木口面に接着剤を塗布してください。
けこみ板を入れたあと、廻り用踏板を置いてください。
(図-2を参照)

- ③L型金具を固定してください。(図-2を参照)
割れ防止のため、ねじ固定前に下穴を空けてください。
- ④裏からけこみ板と踏板をねじで固定します。
- ⑤けこみ板裏面に補強材を固定してください。
補強材には接着剤を塗布してください。
- ⑥次の段以降は上記を繰り返してください。



●踊り場の場合

踊り場の下に補強材を取付けてください。
補強材は40mm×30mm以上の材料(現場手配)を使用してください。
補強材と踊り場は、接着剤を塗布したあと、ねじで固定してください。



●L型金具の固定位置

下図を参照してください。

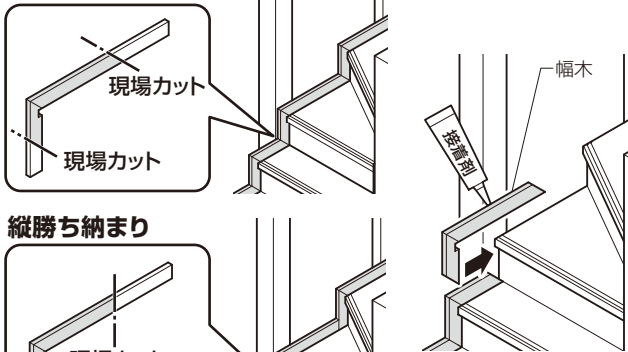
階段形状		取付け参考図
90° 廻り	2段廻り	
	3段廻り	
	BF2段廻り	
	4段廻り	
180° 廻り	5段廻り	
	7段廻り	

6 幅木の加工・取付け

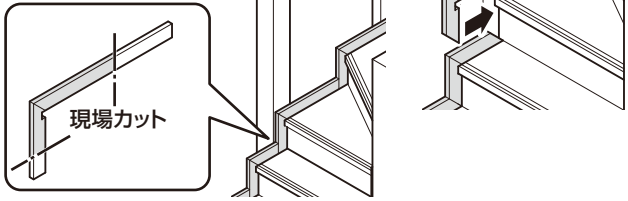
- ① 階段とのすき間がでないように、踏板形状に合わせて加工してください。
- ② 現場の階段に合わせて高さ、奥行き方向のカットをしてください。
端部は留め納まりまたは縦勝ちと納まりのどちらかでカットしてください。
- ③ 幅木裏面に接着剤を塗布し、かくし釘等で固定してください。

● 廻り部の幅木のカット方法

留め納まり

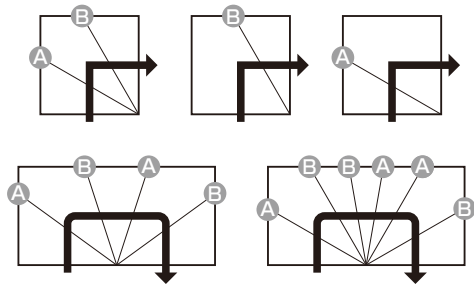


縦勝ち納まり

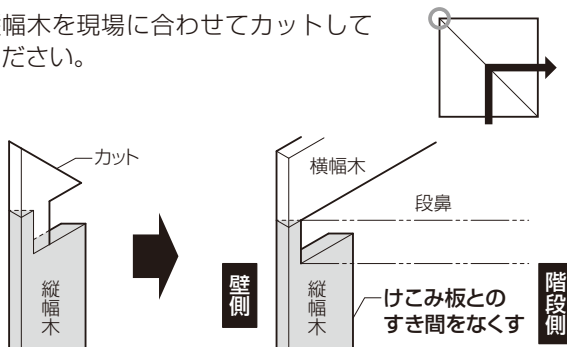


● 廻り用踏板種類による幅木の加工

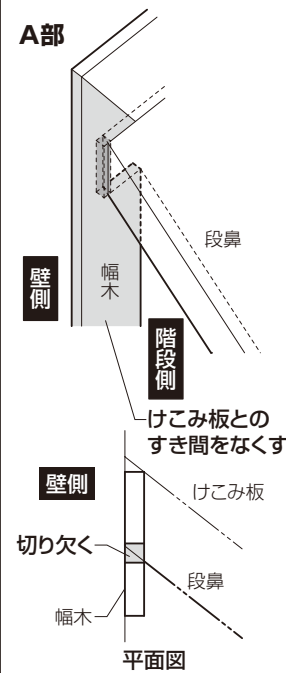
・廻り用踏板の種類により、右上記載のA部・B部の加工を行ってください。



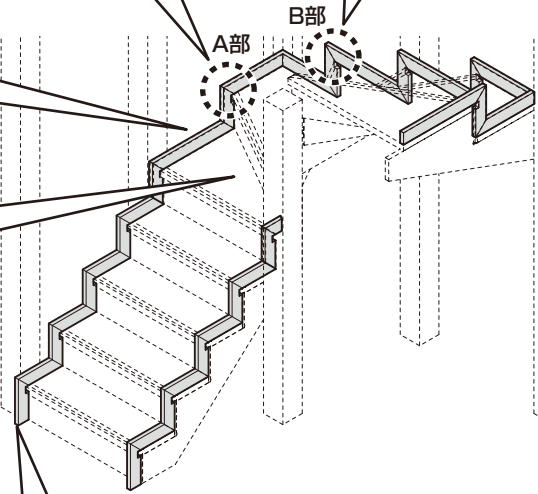
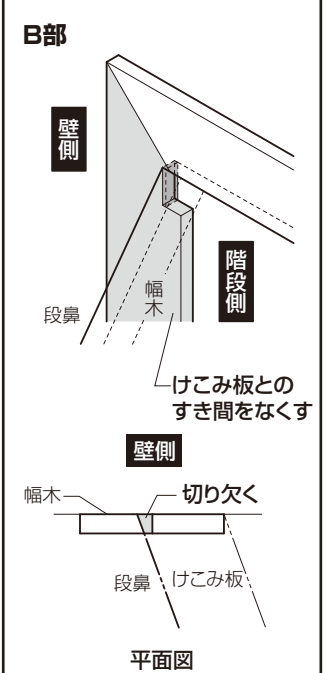
・段鼻が入隅にくる場合は、下記の加工を行ってください
縦幅木を現場に合わせてカットしてください。



● A部の納め方

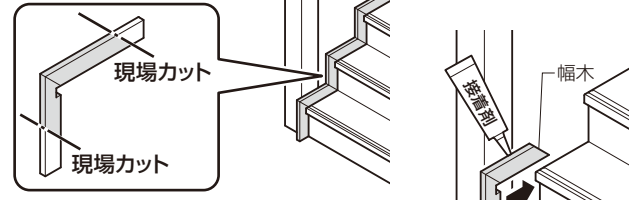


● B部の納め方

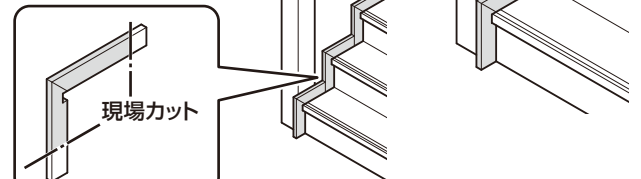


● 直線部の幅木のカット方法

留め納まり



縦勝ち納まり

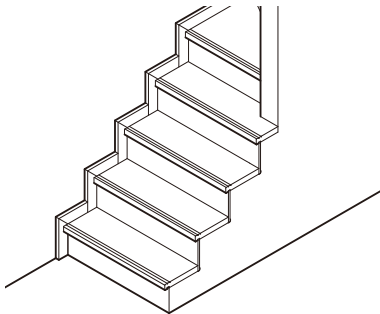


ひな段納まり／完成イメージ図

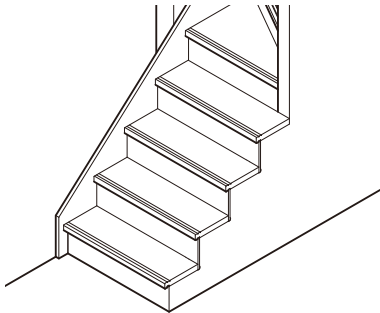
・各部材の加工、取付け方法は幅木納まりの内容を参照してください。

以下、ひな段幅木納まりの説明です。

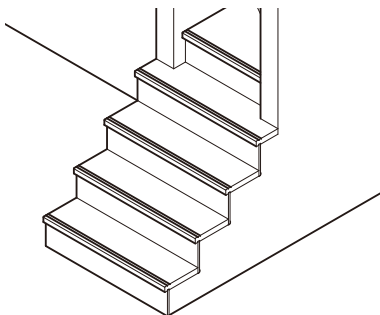
●幅木納め



●側板納め

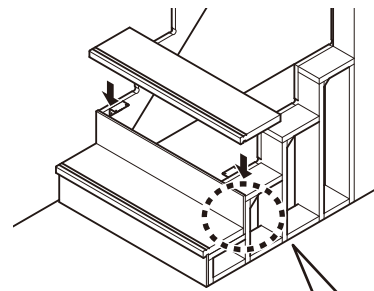
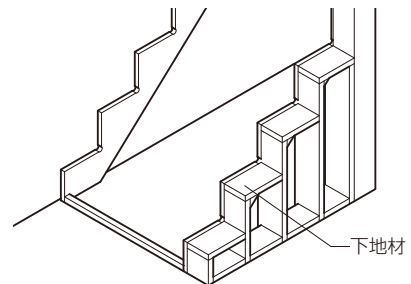
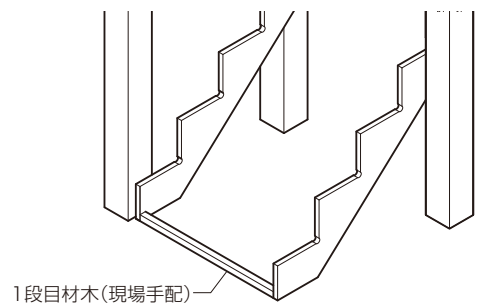


●両側ひな段



7-1 ひな段タイプの取付け

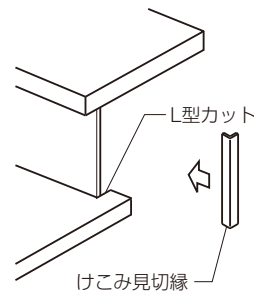
- ①墨出し線に合わせて、柱と間柱に固定してください。
固定はL=75以上のねじ(現場手配)で各柱、間柱に3本以上行います。
 - ②受け材と柱の寸法に合わせた下地材を組んでください。
下地材は、現場手配の間柱や2×4材等を使用してください。
 - ③踏板の取付けは、幅木納まりの内容を参照してください。
踏板と下地材は、接着剤を塗布したあと、ねじで固定してください。
- ※踏板のL型カット、けこみ板突き止め加工は追加加工です。
追加加工選択をしなかった場合は、現場加工してください。
- ④けこみ見切縁はけこみ板の高さにカットしたあと、取付けてください。
接着剤は「ポリネートチューブ」(有償部品)をご使用ください。



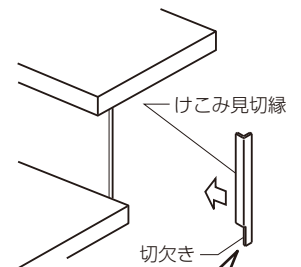
●けこみ見切縁の取付け

※壁材が貼られた後に取付けます。

【L字カットする場合】



【L字カットしない場合】

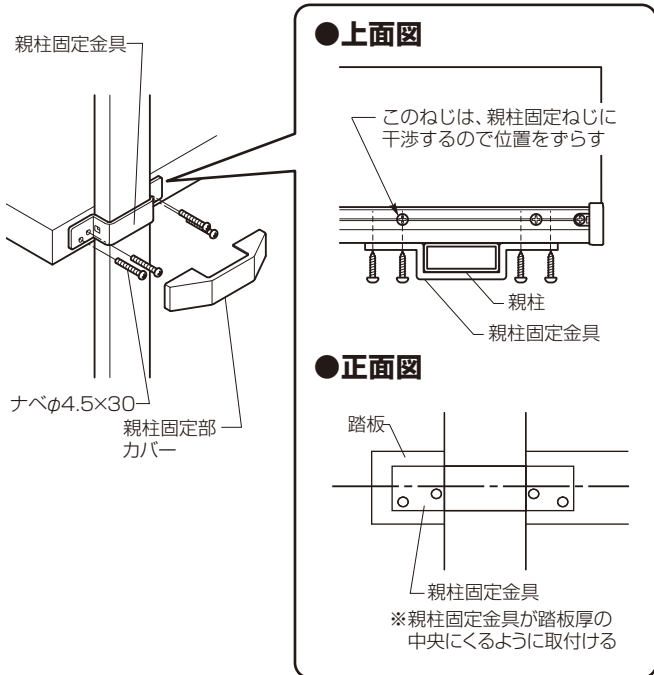


木口部が気になる場合は、
木口単板(有償部品)を
ご使用ください

7-2 オープン金属手すりの取付け

●ラシッサ アルファ階段に取り付ける場合

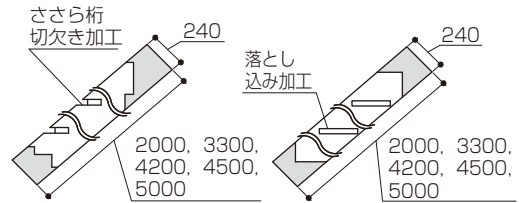
- ①グリップ段鼻ベース材の固定ねじの位置を確認してください。
- ②手すりのねじとベース材のねじが干渉する場合、ベース材のねじをずらしてください。
- ③ねじをずらす箇所のベース材にφ4.5の穴をあけてください。
※手すり位置をずらせる場合は、ベース材のねじの位置を変更する必要はありません。



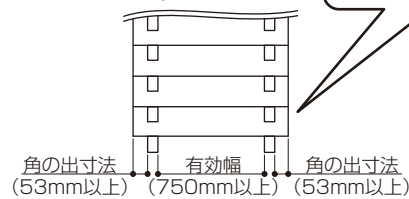
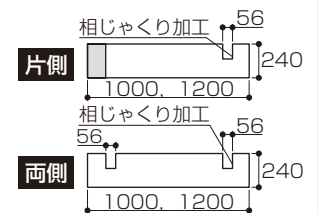
8-1 ストリップタイプ(集成タイプ) 部材の加工

- ①下図のグレー箇所を現場加工してください。
- ・ストリップタイプでは、ささら桁の内々寸法が有効幅です。
- ・角の出寸法は53mm以上になります。
(金属手すりが付く場合は角の出106mm以上)

●ささら桁の加工



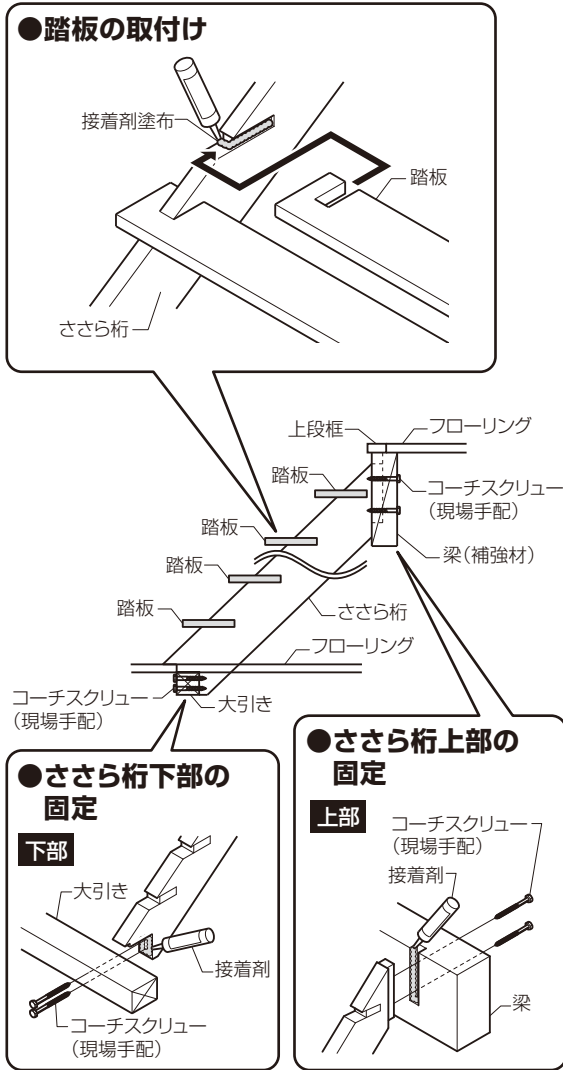
●踏板の加工



■部分は現場加工してください。

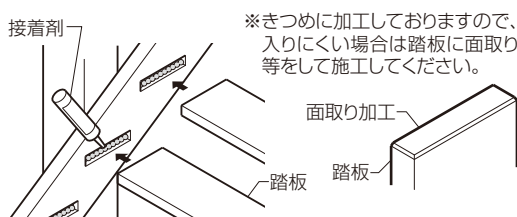
8-2 ささら桁の取付け

- ① 梁または土台に接着剤とコーチスクリューボルトで固定してください。
- ② ささら桁の加工部分に接着剤を全面塗布してください。
- ③ 踏板をささら桁にはめ込み、叩き込んでください。
ささら桁と踏板の間にすき間がないことを確認してください。



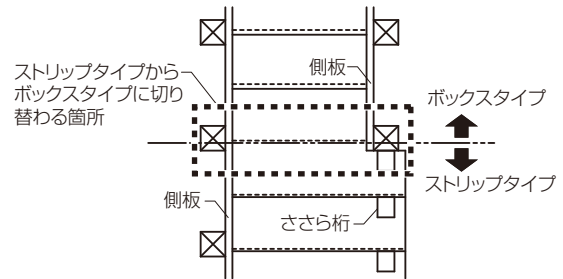
● 側板 (落とし込み加工) への踏板の取付け

- ① 側板と柱が重なる箇所をねじで固定します。
 - ② 落とし込み加工部に接着剤を塗布し、踏板を差し込んでください。
- ※ 踏板の落とし込み加工はR3となっています。落とし込み加工の後部のR部はノミ等で加工してから踏板を取付けてください。
- ※ 踏板が側板の落とし込み加工の奥までしっかりかかるように納めてください。



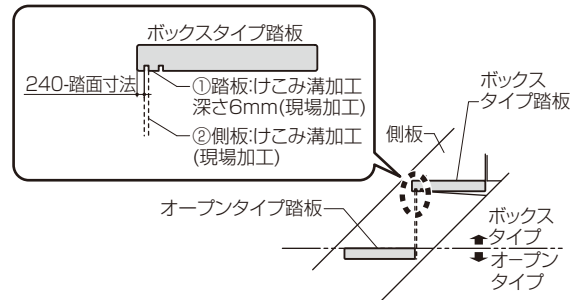
8-3 ストリップタイプからボックスタイプに切り替わる箇所について

ストリップタイプとボックスタイプでは鼻の出寸法が異なります。ストリップタイプからボックスタイプに切り替わる箇所については、踏面に合わせて下記の加工を行ってください。



【踏板220mm以上の場合】

- ① ボックスタイプ踏板に、鼻の出「240mm-踏面」の位置にけこみ溝加工 (深さ6mm) を行ってください。
※ グリップ段鼻のねじ干渉になるため、けこみ溝深さは必ず6mmにしてください。
- ② 側板の鼻出「240-踏面」の位置にけこみ溝加工を行ってください。



【踏板220mm未満の場合】

- ① 側板の、鼻の出20mmの位置にけこみ溝加工を行ってください。
- ② オープンタイプ踏板を「踏面+20mm」の寸法で踏板の奥行をカットしてください。

